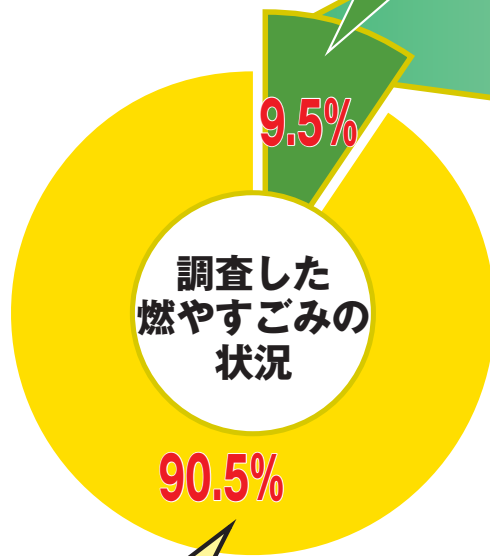


# 令和2年度 飯田市「燃やすごみ」組成調査の結果

令和2年5月18日、7月20日、9月18日に、「燃やすごみ」の組成調査を実施し、飯田市内のごみ集積所から調査目的で無作為に回収した燃やすごみ（各回5袋）の分別状況を確認しました。

「燃やすごみ以外のごみ」の混入割合は、前年度と比べて0.5ポイント改善し、全体の9.5%となっています。

正しく分別されず、燃やすごみに混入していたごみの割合



正しく分別されていた燃やすごみの割合 ※3

せともの、ガラス製品、  
小型家電品、混合物 5.7%  
→埋立ごみとして排出すべきもの

金属類 1.9%  
→資源ごみ(金属)として  
排出すべきもの

紙類 39.6%  
→資源ごみ(紙)として  
排出すべきもの ※2

プラマークの表示がある  
容器包装(きれいなもの) 52.8%  
→資源ごみ(プラマーク)として  
排出すべきもの ※1

燃やすごみに混入していた  
ごみの内訳



## 特に多く混入していたごみの正しい出し方

### ※1 プラスチック製容器包装 (きれいなもの)

→コンビニ弁当容器、洗剤等の空き容器などは水でゆすぎ、汚れを落としてプラ資源(プラスチック製容器包装)の袋へ入れて排出してください。汚れが落ちない場合は、燃やすごみへ分別して排出してください。

### ※2 紙類 (ティッシュやお菓子の空き箱、紙袋など)

→ティッシュやお菓子の空き箱、紙袋などは、雑誌やチラシなどと一緒に、ひもで十字にしぼって資源ごみ(その他紙)として排出してください。

## 生ごみの削減にご協力ください

※3 今年度の調査では、燃やすごみの中で、生ごみや食品ロスが44.5%を占めました。生ごみ処理機やコンポストを活用し、生ごみの削減にご協力ください。(飯田市には生ごみ処理機購入に対する補助があります。) また、食品の買い過ぎ、作り過ぎに注意して、食品ロスを削減しましょう。



「もったいない」の気持ちを大切に